

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
ECC国際外語 専門学校	1984年2月20日	伊藤 功	〒530-0015 大阪市北区中崎西2-1-6 (電話) 06-6311-1446		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人山口学園	1983年11月22日	理事長 酒元英二	〒530-0015大阪市北区中崎西2-3-35 (電話) 06-6372-5151		
目 的	<p>本学は学校教育法及び教育基本法に基づき、語学ビジネス専門教育を通じて、実社会に有用な人材の育成を目的とする。以て国際間の人々の交流と相互理解を促進し、世界の文化向上とその恒久平和樹立に寄与したい。そのために以下の4項目をホテル・トラベル学科(ホテルコース)の学科目標として掲げている。</p> <p>①ホテル業界・企業出身の講師・専門家による理論と実学教育を通じて、最先端の情報と技術を提供することにより業界や企業が求める即戦力を伴った人材養成教育を行う。</p> <p>②授業で得た知識・技能をホテル・観光地・企業などの現場で実践することにより、接客実戦(経験)力を高める教育を行う。</p> <p>③専門知識・技能を証明する資格(サービス接客検定・ホテルビジネス実務検定・サービス介助士検定)取得教育を行う。</p> <p>④英語能力を磨き外国人のお客様とのコミュニケーション能力を高める実用英語教育を行う。</p>				
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与 高度専門士の付与
文化・教養	語学ビジネス 専門課程	ホテル・観光学科 ホテルコース	2年(昼)	1952時間	平成17年文部科学 大臣告示30号 —
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	896時間	1056時間			
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
92人	66人	4人	18人	22人	
学期制度	■前期：4月1日から7月31日 ■後期：9月1日から3月31日			成績評価	■成績表 (有) (無) ■成績評価の基準・方法について 各科目の単位認定は、以下の基準を 全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。 総合評価点が50点以上であること。

長期休み	<p>■学年始め：4月1日</p> <p>■夏季：8月1日 - 8月31日</p> <p>■冬季：12月17日 - 1月13日</p> <p>■学年末：2月11日 - 4月上旬</p>	卒業・進級条件	<p>(卒業の要件) 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、48単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。</p> <p>(進級の要件) 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、48単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。</p>
生徒指導	<p>■クラス担任制 (有) 無)</p> <p>■長期欠席者への指導等の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス担任による出欠確認</li> <li>・担任面談</li> <li>・保護者会</li> <li>・電話による対応</li> <li>・HRでの全体指導</li> </ul>	課外活動	<p>■課外活動の種類</p> <p>スポーツ大会・英語スピーチコンテスト・夏期英語集中プログラム・ハロウィーン仮装フェスティバル・駅伝大会・文化祭(地球祭)・海外語学留学(英国・韓国、等)・プレゼンテーションコンテスト・春期就職活動プログラム</p> <p>■サークル活動 (有) 無)</p> <p>硬式野球部・バレーボール部・フットサル部・バスケットボール部・軽音楽部・コーラス部・駅伝サークル等</p>
就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等</p> <p>ホテル業界(ウェスティンホテル大阪、ウェスティンホテル東京、京都ブライトンホテル、グランドハイアット東京、セントレジス大阪、ハイアットリージェンシー大阪、パークハイアット東京2パレスホテル東京、ホテルニューオータニ大阪、ホテルユニバーサルポート等)</p> <p>■就職率 100%</p> <p>卒業生22名、就職希望者20名、就職者20名</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合 90.9%</p> <p>■その他(任意)</p> <p>(平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報)</p>	主な資格・検定	サービス接遇検定・サービス介助検定・ホテルビジネス実務検定・実用英語検定・TOEIC・Word文書処理技能検定Excel表計算
中途退学の現状	<p>■中途退学者2名 ■中退率 4.9%</p> <p>平成26年4月1日在学者 41名(平成27年4月入学者を含む)</p> <p>平成27年3月31日在学者 39名(平成27年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の理由 進路変更</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>担任面談の実施(年3回)・出席管理・保護者会の実施</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://kokusai.ecc.ac.jp/">http://kokusai.ecc.ac.jp/</a>		

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

(平成 27 年 8 月 25 日現在)

名 前	所 属
三橋 滋子	一般社団法人日本添乗サービス協会 専務理事
下西 由子	セントレジスホテル大阪
石崎 歩	フォーシーズンズホテル京都
辻 洋平	株式会社阪急阪神ホテルズ

(開催日時)

第 1 回 平成 28 年 9 月 10 日 15:50~17:20

第 2 回 平成 29 年 1 月 20 日 13:00~14:30 (予定)

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

### 1. 企業等との連携による実習・演習等の目的

- ・ 業界の実態を理解するために仕組み、内容、最新情報・技術を学生に授業を通じて提供する。
- ・ 業界での現場体験することにより、接客実戦（経験）力を高める。企業等と連携して実習・演習を行う。

### 2. 企業等との連携による実習・演習等の運営

- ・ 企業等との連携による実習・演習等は本校教員と企業等から派遣された担当者が共同して実施する場合と、企業等から提供されたカリキュラム及び教材をもとに本校教員が授業を実施する場合がある。
- ・ 実施された実習・演習等については教務責任者、コース担任及び教育課程編成委員会で内容を検証し改善を図る。

### 3. 企業等との連携による実習・演習等の評価

- ・ 本校教員と企業担当者が共同して実施する場合は、授業の成果に対して企業担当者の評価を基に本校教員が成績評価を行う。
- ・ カリキュラム等を提供されて実施する場合は、企業等の成績評価規程に従って本校教員が成績評価を行う。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
Hotel Research IA	ホテルの仕組みや特徴を研究することによりホテル業界を深く理解し、夏季休暇中に実施されるホテルインターンシップに備えます。	阪急阪神ホテルズ・ウェスティンホテル大阪・セントレジスホテル大阪・ホテル京阪ユニバーサルタワー
Food & Beverage IA/IB	レストランサービス・バーサービス・ルームサービス・ブライダルサービスを含む宴会サービス等、お客様の飲食に関する全ての業務を基礎から学びます。また、ホテルビジネス実務検定 2 級合格に向け対策授業を設けます。	有限会社オノ・エンタープライズ
ホテリエコーディネータ IA	積極的に自己と向き合い、後期に控える就職活動に向け、意識の改革を行います。ホテルマンの心構えを知りモチベーションアップを図ります。ま	ザ・ウィンザーホテル洞・ホテルユニバーサルポート・ホテルニューオータニ・ルネッサンスリゾートオキナワ・リゾートトラスト株

	た、夏季休暇を利用して国内のホテルにてインターンシップを行います。	式会社・ザ・テラスホテル株式会社・株式会社阪急阪神ホテルズ・) ホテルグリーンプラザ(白馬)・神戸メリケンパークオリエンタルホテル・ルネッサンスリゾートナルト・株式会社ラグーンリゾート名護・オキナワマリオットリゾート&スパ
--	-----------------------------------	---

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員の研修等の基本方針

推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「教務規約第35条」に定められている通り、以下の基本方針を定めている。

1. 推薦学科の教員に対する研修・研究の目的

教員の質を一定以上に保つことと技術の向上のために、業界で使用されている標準技術、最新技術等を教員が直接企業等から学ぶ研修と、教授技術等の教育に関わる研修を毎年度それぞれ1回以上実施する。

2. 推薦学科の教員に対する研修・研究の運営

研修については講師を本校に迎え入れて教員全員が同時に受講する全体研修と、一部の教員が参加する外部研修を適時組み合わせ実施する。一部の教員が参加する外部研修については、その研修内容について報告会を実施するなどして教員全体へその情報を伝える。

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年9月10日現在

名 前	所 属
三橋 滋子	一般社団法人日本添乗サービス協会 専務理事
明松 克司	ベイエリアサービス株式会社 代表取締役
小椋 圭一郎	社会福祉法人博愛社
下西 由子	セントレジスホテル大阪
塩谷 典子	株式会社 TEI 大阪支店
前田 雅範	済美福祉センター連合運営委員会
上野 篤郎	神戸大学経済学部(本校卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://hello.ecc.ac.jp/gakuen/outline/self-evaluation/pdf/kokusai-school-201502.pdf>

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://kokusai.ecc.ac.jp/>

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程ホテル・トラベル学科ホテルコース) 平成25年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			Listening&Speaking I A	英語を母国語としない人にとって最も効果的だと言われているティームティーチング(パイリンガル講師とネイティブ講師が担当)で、コミュニケーション能力を磨きます。	1/前	64	4	○	△	
○			Listening&Speaking I B		1/後	64	4	○	△	
○			Grammar Composition I A	語学の基礎となる英語のルール(文法)を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	1/前	96	6	○	△	
○			Grammar Composition I B		1/後	64	4	○	△	
○			Reading I A	英文の構造(ポイントを書く箇所、よく使うキーワードなど)を学び、少量読んで効率良く情報を得るテクニックを身につけます。	1/前	32	2	○	△	
○			Reading I B		1/後	32	2	○	△	
○			STEP/TOEIC 対策 I A	英語力だけでは高得点を取得することが難しい検定試験。時間配分・問題の解き方などのテクニックを徹底的に身につける戦略クラス。	1/前	96	6	○	△	
○			STEP/TOEIC 対策 I B		1/後	64	4	○	△	
○			フロントオフィスサービス I A	自分の主張や考えを的確に、効率よく、好感をもって相手に伝えられるよう、話の道筋を確立させる「話法」を学習します。人前で自信を持って「説得力」と「影響力」のあるプレゼンテーションができる力を習得します。	1/前	32	2	○		
○			フロントオフィスサービス I B	フロント/ベルスタッフ/ハウスキーピング/コンシェルジュ業務などお客様の宿泊に関する全ての業務を基礎から学びます。また、ホテルビジネス実務検定2級必須合格に向け、対策授業を行ないます。	1/後	32	2	○		
○			ホテリエコーディネーター I A	積極的な自己との向き合い、後期に控える就職活動に向け、意識の改革を行ないます。ホテルマンの心構えを知り、モチベーションアップを図ります。また夏期休暇を利用して国内ホテルにてインターンシップを行います。	1/前	32	2	△		
○			ホテリエコーディネーター I B	就職活動の流れを理解し、就職内定に向け、積極的に自己分析を行なう。また、筆記試験や提出書類の対策、基本的なビジネスマナーを身につけ、就職面接試験にて、存分に自己表現ができるよう対策を行ないます。	1/後	32	2	○		
○			Hotel Research I A	ホテルの仕組みや特徴を研究することによって、ホテル業界を深く理解し、夏期休暇中に実施されるホテルインターンシップに備えます。	1/前	32	2	○		△

○		Hotel Research I B	夏期休暇中1か月間、全国のホテルにおいて実際にインターシップ生として、働き、ホテルに実務について学ぶ。	1/後	32	2	○	△
○		Hospitality English I A	宿泊業務、レストランサービス業務、ルームサービス業務および電話対応の基本について学びます。尚、同時開講のHotel English I Nでは、この授業の実践の場として、内容を連携させて進めていきます。	1/前	32	2	○	△
○		Hospitality English I B		1/後	32	2	○	△
○		Hospitality English (N) I B	Hospitality Englishで基礎会話を習得した内容を、外国人講師を交え、国際的なホテルスタッフに必要な英語力を養います。ホテルで起こり得る様々なシーンを想定して外国人スタッフと上級英語を学びます。	1/後	32	2	○	△
○		Food & Beverage I A	レストランサービス/バーサービス/ルームサービス/ブライダルサービスを含む宴会サービス等、お客様の飲食に関する全ての業務を基礎から学びます。また、ホテルビジネス実務検定2級合格に向け、対策授業を設けます。	1/前	32	2	△	○
○		Food & Beverage I B		1/後	32	2	△	○
○		海外リクルート	お客様に満足いただける「ホスピタリティーマインド」を知識と技術の双方の面から学びます。前期の検定取得目標は3級です。	1/後	32	2	○	
○		地域貢献入門	地域の課題について目を向け、課題解決の為の手法を学びます。状況に応じ、地域パートナーと連携をとりながら、学習に取り組みます。	1/前	32	2	○	△
○		地域貢献実践		1/後	32	2	○	△
○	○	パソコン演習 (Word) I A	ビジネスで求められるパソコンスキル (Microsoft Word) の基本操作を習得し、検定合格も目指します。	1/前	32	2	△	○
○	○	パソコン演習 (Excel) I B	ビジネスで求められるパソコンスキル (Microsoft Word) の基本操作を習得し、検定合格も目指します。	1/後	32	2	△	○
○		Listening&Speaking II A	英語をスムーズに運用できるよう、リスニングとスピーキングの応用力を身につけます。	2/前	64	4	○	△
○		Listening&Speaking II B		2/後	64	4	○	△
○		Grammar Composition II A	語学の基礎となる英語のルール (文法) を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	2/前	64	4	○	△
○		Grammar Composition II B		2/後	64	4	○	△
○		Reading II A	英文の構造 (ポイントを書く箇所、よく使うキーワードなど) を学び、少量読んで効率良く情報を得るテクニックを身につけます。	2/前	32	2	○	△
○		Reading II B		2/後	32	2	○	△
○		Culture II A	国別に基本情報、言語、歴史的名所などをカバーするだけでなく、豆知識やあまり知られていない事実にも触れていきます。	2/前	32	2	○	△
○		Culture II B		2/後	32	2	○	△
○		TOEIC 対策 II A		2/前	64	4	○	△

○		TOEIC 対策ⅡB	英語力だけでは高得点を取得することが難しい検定試験。時間配分・問題の解き方などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラス。	2/後	64	4	○	△	
○		フロントオフィスサービスⅡA	フロント/ベルスタッフ/ハウスキーピング/コンシェルジュ業務などお客様の宿泊に関する全ての業務を応用を学びます。また、ホテルビジネス実務検定1級必須合格に向け、対策授業を行いません。	2/前	32	2	△		○
○		ホテリエコーディネーターⅡA	ホテルマンに相応しい立ち居振る舞い・発言を身につける。	2/前	32	2	△		○
○		Hospitality EnglishⅡA	宿泊業務、レストランサービス業務、ルームサービス業務および電話対応の応用表現について学びます。自分達で想定した場面での技術や一定のテーマに基づくプレゼンテーションも実施します。尚、ホテルビジネス検定1級取得を目指し、試験の向け、集中講義の期間を設けます。	2/前	32	2	○		△
○		Hospitality EnglishⅡB	Hospitality Englishで基礎会話力を習得した内容を、外国人講師を交え、国際的なホテルスタッフに必要な英語力を養います。ホテルで起こり得る様々なシーンを想定して外国人スタッフと上級英語を学びます。	2/後	32	2	○		△
○		Food & BeverageⅡA	レストランサービス/バーサービス/ルームサービス/ブライダルサービスを含む宴会サービス等、お客様の飲食に関する全ての業務を「基礎」を基本に、より実践的な知識を学びます。	2/前	32	2	△		○
○		Food & BeverageⅡB	レストランサービス/バーサービス/ルームサービス/ブライダルサービスを含む宴会サービス等、お客様の飲食に関する全ての業務を、より実践的な知識を学びます。また、ホテルビジネス実務検定1級合格に向け、対策授業を設けます。	2/後	32	2	△		○
○		テクニカルスピーチⅡA	プロのカウンセリングとインタビューのテクニックを学び、接客やセールスに役立つ聴く力、質問する力を磨きます。	2/前	32	2	○		
○		テクニカルスピーチⅡB		2/後	32	2	○		
○		ユニバーサルサービス接客術ⅡB	ユニバーサルサービスとは、子供から大人・高齢者等あらゆる人に対して公平な情報サービスを提供する事です。あらゆる人に対し「おもてなしの心」をもって対応する力を習得します。	2/後	32	2	○		△
○		就職試験筆記対策ⅡA	就職活動期すぐに対応できるよう、就職筆記試験に頻出される問題を中心に解き方のコツを学びます。	2/前	32	2	○		
○		スマートマナーⅡB	テーブルマナーや冠婚葬祭でのマナーなど「日常のお付き合い」をスムーズにするスマートな大人を目指します。また、日本人独特の文化を知る事により、日本文化の持つ「おもてなしの精神」を養います。	2/後	32	2	○		

○		卒業制作ⅡB	ホテルコースで学習した2年間の総仕上げを行ないます。卒業に向けて今までの知識や技能を凝縮しまとめ上げます。	2/後	32	2	△	○
○		Japanese CultureⅡB	お盆・お正月を中心に、日常生活で当たり前になっている日本を、英語という違った角度から学習して、日本語で理解した日本を英語で説明できるようにします。	2/後	32	2	○	
合計			48 科目	1952 時間 ( 124 単位)				